

令和4年度
事業報告書



社会福祉法人摂津宥和会

4 多機能型事業所「摂津市立ひびきはばたき園」

(1) 概況

ひびきはばたき園では、総合支援法に基づく多機能型事業所として、生活介護・就労移行支援・就労継続支援 B 型・自立訓練（生活訓練）の各事業を実施した。

生活介護では、自閉症スペクトラムや行動障害のある方に対して構造化を中心とした手法で落ち着いて過ごせる環境を整えた。その結果、活動や行動に見通しを持ち作業に集中できるようになった。また、学校のような雰囲気も含め新たな利用者獲得へ繋がった。昨年度同様に近隣の企業から作業を請負い、生産活動の機会を提供し昨年以上の高い工賃支給額へと繋がった。

就労移行支援では、2 名の利用者が、一般就労及び就労継続支援 A 型事業所に結びついた。また、継続雇用ができるよう就労定着支援に努めた。

就労継続支援 B 型では、「小型家電リサイクル事業（希少金属の再資源化）」と施設外就労「食品トレイ等選別業務」、その他請負作業とシール張り作業の充実した取り組みができた。また、利用者の就労意欲の向上と地域生活での潤いにも繋がった。

新たな利用者確保の為に、支援学校や関係機関への情報提供を強化した。

その他、新型コロナ感染予防に努め、陽性者が発生した場合は速やかに市・保健所・関係機関と連携を取り感染拡大を防いだ。また、昨年度同様に感染対策として手洗いうがいの徹底。3 密を避ける取り組みとして、時間差での給食の提供と活動の分散化。各部屋への換気器具の設置。利用者へ見て分かりやすいルールの掲示等に取り組んだ。

その他、園舎の経年劣化によるドア修繕やフェンス交換、水道管交換などの環境整備を行った。今後も定期的な点検と計画的な改修・修繕が円滑に進むよう努めたい。

ひびきはばたき園では、職員の資質向上・意識の統一を図りながら、福祉を支える人材育成に努め、利用者が求める良質なサービス提供ができるように取り組んだ。

(2) 支援の状況

■生活介護

生活介護では、利用者一人ひとりに応じた、専門的知識・技術に基づく「日中活動の場」を提供し、安全性の確保や園内支援の充実に重点を置いた取り組みを実施した。また、昨年度に引き続き構造化支援に取り組み、利用者が活動できる場を提供した。その他、近隣の企業よりシール張り作業を請け負い、生産活動の機会の提供を通して達成感や社会の一員としてのやりがい・いきがいをを感じる活動に取り組み、工賃として還元した。

① 個別支援計画

多様化した個別のニーズに応じるため、半年に一度個別支援計画の作成・見直し、個別アプローチ、個別に応じたサービスを提供した。また、緊急時の対応については、状況に応じて適切な支援を行った。

② 支援者づくり

障がい者の『自立』には、支援者は必要不可欠である。一人でも多くの理解者や、サポートを得るために積極的にボランティアを受け入れ、制度サービスの活用に努めてきた。

また、移動支援事業「てくてく」を開始して以降、利用者、家族へ制度やサービスの利用について働きかけや、積極的にガイドヘルパーの利用を促してきたが、昨年度に続き今年度も、新型コロナウイルスの影響で事業を実施する事ができなかった。

③ 日中活動の充実（療育活動・作業訓練・生活支援）

個別支援を基本とし、個別プログラムの充実や安全を確保するために活動内容・障がい程度を基準に、いきいき・わくわく・うきうき・のびのび・かがやきの5クラスに編成し活動を行った。

（ア）いきいきクラス

理学療法士の指導による、機能回復・維持訓練やリラクゼーション活動・リラクスタタイム・気候に応じた外気浴など、ゆとりを持ったプログラムを設定し基本的生活習慣の獲得・向上を目指した。

（イ）わくわくクラス

集団を意識しながら個人に応じた作業を取り入れ、運動・生産活動（シール貼り作業）・制作活動・レクリエーションなどの活動を行った。

（ウ）うきうきクラス

安心して見通しが持てるよう構造化を個別に行い、課題に応じた作業を取り入れ運動・散歩・レクリエーションなどの活動を行った。

（エ）のびのびクラス

作業手順や見通しの立つスケジュールを提示する構造化を行った。和紙作業・生産活動（シール貼り作業）・制作活動・レクリエーションなどでは集団を意識できる活動を行った。

（オ）かがやきクラス

利用者の健康維持管理に努め、理学療法士による機能回復・維持訓練を実施した。調理訓練・個別作業・集団体操など多彩なプログラムを提供するなか、個々に応じた活動を行った。

④ 生産活動（収入状況）

（単位：円）

内 容	年間収入	事業所
シール貼り作業	28,605	(株)フレッシュファーム
その他の収入	93	
収 入 合 計	28,698	

⑤ 工賃支給状況

（単位：円）

工 賃 支 給 総 額	利用者数	工 賃 / 1人平均
28,698	9	3,189

■就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

就労移行支援では、カリキュラム（ビジネスマナー、SST（ソーシャルスキルトレーニング）、面接、履歴書作成等）を充実させ実践的な訓練（面接会等）と、仕事のイメージをより実感し理解し経験する為の職場実習の充実に努めた。また、就労後も継続のためのきめ細かな職場定着支援にも取り組んだ。その他、支援学校や関係機関への啓発活動と、ハローワーク、茨木・摂津障害者就業・生活支援センター、せつつくすのき、関係機関との連携も強化した。

就労継続支援B型では、障がい者の働く場と位置づけ、安定したサービスの提供に努め「障がい者の自立へ向けての支援」に取り組んできた。また、積極的な働きがけにより、官公需要や地域の企業からの継続的な作業受注に繋がった。

また、就労移行支援の作業資源を作業プログラムに取り込む事により、作業内容の拡大を図った。

その他、市からの業務受託事業（食品トレイ等選別業務）に8名の利用者と職員で従事し、施設外就労として、就労継続支援B型利用者の訓練資源の一つとしても活用することができた。

また環境業務課・障害福祉課の協力の下、小型家電リサイクル事業のパソコン解体に取り組む事で、作業内容の幅が広がり充実した作業の提供ができた。

① 作業訓練と還元金

個別支援計画（就労移行支援は3ヶ月ごと、就労継続支援B型は6ヶ月ごとに見直し）に沿った支援を実施した。

陶芸や軽作業（電気部品の加工作業、小型家電リサイクル事業）と食品トレイ選別等業務など幅広い作業に取り組んだ。そして、還元金支給取扱い要綱の基に工賃を配分した。

② 生活支援プログラムの充実

利用者の個々のニーズに即した生活支援や、自治会・情報提供・運動などを実施した。

③ 主体性、自己決定の尊重・支援とエンパワメントを重視した支援

生活支援プログラムの中で自らの考えや思いを表現・実現できるように支援した。

④ 家庭生活、地域生活支援

ニーズや家庭状況に合わせて必要な利用者については、家庭訪問や障害福祉課、相談支援事業所と連携しながら生活支援を行った。

障害福祉課、生活支援課、相談支援事業所、その他関係機関と連携を図り「一人暮らし・自立」への地域生活支援を実施した。また、その他、健康で安心・安全な生活が送れるよう通院支援も実施した。

⑤ ボランティアや実習生の受け入れ

社会福祉活動への関心や参加が増加している中、ボランティア受け入れの理念統一とシステムの整備、啓発を続けてきた。実習生の受け入れについても教育と進路について考えてもらうことを目的に積極的に受け入れてきた。

⑥ その他

施設支援計画や機関紙など、利用者への情報提供や案内文には平易な表現やひらがなやルビ、写真を使用、また苦情解決システムの充実に努めた。

⑦ 作業指導

■就労移行支援、就労継続支援B型

・ 陶芸

市主催事業の記念品などの大量注文を中心に、干支の置物製作・販売も並行して行い、幅広くさまざまな陶器の受注製作を行った。

・ 軽作業

株式会社ダイキンサンライズ摂津の電気部品のコード巻き作業を中心に、株式会社フレッシュファームからのシール貼り作業を受注した。また、「障害者週間」に配布するカイロ袋詰め作業を摂津市の担当課より請け負った。この他3ヶ月に1回、建設会社からのダイレクトメール袋詰め作業にも取り組み、利用者一人ひとりが役割と目標をもって取り組むことができた。

・ 食品トレイ選別等業務

摂津市リサイクルプラザにて食品トレイの分別・選別を行い、資源リサイクルとごみに選別した。施設外就労を行う事で、利用者の経験拡大と工賃向上に繋がり、リサイクルへの意識も向上した。

・ 小型家電リサイクル事業

主にパソコンを解体し、鉄・アルミ・ステンレスそして、金・銅・パラジウム等の希少金属（レアメタル）を海外流出させず国内循環し、社会に貢献できる事業である。作業の拡大と工賃の向上にも繋がった。

■自立訓練（生活訓練）

今年度の利用はなかった。

⑧ 就労活動

■就労移行支援

(人)

実施日	名 称	場 所	参加者
4月28日	企業事業所見学	エスプールプラス	1
5月17日	企業事業所実習	エスプールプラス	1
5月31日～6月3日	企業事業所実習	エスプールプラス	1
6月16日	求職活動	ハローワーク茨木	2
9月5日	企業事業所見学	イオンペット(株)	1
9月7日・8日	企業事業所実習	ひびきはばたき園	1
9月21日	企業事業所見学	フレッシュファーム	3
10月11日～14日	企業事業所実習	フレッシュファーム	3
10月27日	求職活動	ハローワーク茨木	1
11月8日	企業事業所見学	明治屋	1
11月21日～23日	企業事業所実習	明治屋	1
11月28日・29日・ 12月1日	企業事業所実習	明治屋	1
12月20日	企業事業所見学	おかえりホームきゅら海	1
12月21日	企業事業所見学	AsFine アビリティ(株)	1
1月10日～13日	企業事業所実習	AsFine アビリティ(株)	1
1月24日	企業事業所面接	AsFine アビリティ(株)	1

⑨ 就職状況

■就労移行支援

(人)

事業所名	職 種	所在地	人数
摂津市立ひびきはばたき園	補助員	摂津市	1
AsFine アビリティ(株)	作業員	摂津市	1

⑩ 生産活動（収入状況）

■就労移行支援

（単位：円）

内 容	年間収入	事業所
陶芸作業	463,600	
その他	197,178	カネカ労働組合大阪支部等
収 入 合 計	660,778	

■就労継続支援B型

（単位：円）

内 容	年間収入	事業所
清掃作業	184,800	(株)セラ
空缶・古紙回収	40,148	
電気部品の加工作業	465,481	(株)ダイキンサンライズ摂津
建設会社DM作業	74,210	エッグ住まいる工房
シール張り作業	155,797	(株)フレッシュファーム
カイロ袋詰め等請負作業	35,000	官公庁等
小型家電解体作業	608,176	摂津市役所、一般持ち込み等
食品トレイ選別作業	8,961,620	環境業務課
その他	0	
収 入 合 計	10,525,232	

⑪工賃支給状況

■就労移行支援

（単位：円）

月	工賃支給総額	利用者数	平均工賃
4	19,750	4	4,938
5	19,736	4	4,934
6	20,603	4	5,151
7	19,876	4	4,969
8	19,191	4	9,732
一時金	19,737		
9	19,375	4	4,844
10	19,000	4	4,750
11	14,313	3	4,771
12	14,563	3	9,730
一時金	14,626		
1	14,813	3	4,938
2	14,276	3	4,759
3	9,943	2	9,767
一時金	9,591		

工 賃 支 給 総 額	平 均 工 賃 / ヶ 月
249,393	5,938

■就労継続支援B型

・食品トレイ選別作業

(単位：円)

月	工賃支給総額	利用者数	平均工賃
4	775,320	8	96,915
5	749,050	8	93,631
6	868,330	8	108,541
7	769,640	8	96,205
8	412,510	8	51,564
9	785,260	8	98,158
10	778,870	8	97,359
11	754,020	8	94,253
12	735,560	8	91,945
1	739,110	8	92,389
2	735,560	8	91,945
3	858,390	8	107,299

・軽作業

(単位：円)

月	工賃支給総額	利用者数	平均工賃
4	69,318	8	8,665
5	71,375	8	8,922
6	70,395	8	8,799
7	70,114	8	8,764
8	70,000	8	17,558
一時金	70,464		
9	70,295	8	8,787
10	71,500	8	8,938
11	69,500	8	8,688
12	70,000	8	43,912
一時金	281,298		
1	75,000	8	9,375
2	70,264	8	8,783
3	68,421	8	35,288
一時金	213,881		
工 賃 支 給 総 額		平 均 工 賃 / ヶ 月	
10,373,445		54,028	

(3) 行 事

行事は、生活指導の一環として位置付け、種々の生活場面を導入しレクリエーション的要素・学習的要素を含む取り組みにより、知識・経験の拡大を図ることを目的として実施予定だったが、今年度は、多くの行事が新型コロナウイルスの影響で内容変更もしくは自粛となった。

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援 B 型・自立訓練（生活訓練）

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
12 月 22 日	ジャンボ クリスマス会	各サービス作業室	利用者 生介 28 かがやき 3 移行 3 B 型 16 自立 0	一年の思い出やイルミネーション動画を上映し謎解き、宝探し、ゲームなど各サービスで実施 <u>新型コロナウイルスの影響で縮小</u>
2 月 18 日 ～23 日	つくっ展	摂津市立コミュニティプラザ	約 100 人	コロナウイルスの影響でコンサートは中止しコミュニティプラザでの作品展のみ実施。

※その他、摂津有和会運動会・風船バレーボール大会等については、新型コロナウイルスの影響で中止となった。

■生活介護

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
11 月 2 日	ミニ運動会 & 秋祭り	園舎前、作業室 C	利用者 生介 30	法人運動会が新型コロナウイルスにより中止となったため生活介護内でイベントを企画し新しい利用者にも楽しんでもらえるよう実施。
7 月 13 日 22 日 8 月 5 日 9 月 7 日 26 日 10 月 25 日 11 月 17 日	おやつ作り	かがやき調理室	利用者 生介 33	利用者のニーズに合わせて調理に参加する者と食べる喜び重視のグループに分け実施。

8月30日	園外活動	コープ・ラボたべるたいせつミュージアム	利用者 生介2	新型コロナウイルス感染流行をふまえ2年間は園外活動を中止してきましたが、今年度は外出する楽しみを待ち望んでおられる声を聞くことも多く感染防止に努めながら実施。行先については、利用者のご希望を聞き決定。
9月15日		紫金山公園	利用者 生介1	
10月5日 11日 14日 20日		安満遺跡公園	利用者 生介9	
11月9日 2月14日 15日		ニフレル	利用者 生介11	
12月12日		スカイパーク	利用者 生介2	
3月2日 8日		大阪市立科学館	利用者 生介8	

※その他、懇親会、スプリングフェスタ等については、新型コロナウイルスの影響で全て中止となった。

■生活介護かがやき

① 食事会

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
7月26日 27日 28日	かがやき食事会	木曽路 守口店	利用者 かがやき7	食事を楽しむことで潤いのある園生活を送ることを目的とし実施。

② 社会見学

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
11月15日 30日 12月8日	かがやき社会見学	安満遺跡公園	利用者 かがやき7	コロナウイルスの終息する兆しが見えない状況で外出が制限される中、外出する喜びを感じてもらい活動範囲や経験の拡大を目的として実施。

③ 調理訓練

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
5月18日 6月16日 7月12日 8月17日 9月28日 10月27日 11月 9日 12月13日 1月19日 2月21日 3月22日	かがやき調理訓練	かがやき調理室	利用者 かがやき 30	コロナウィルス感染予防の為、園で調理したおやつを提供し利用者に食べる喜びを感じてもらった。

■就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
10月19日 20日	「アンサンブルひかり」「ヤクルトオンライン工場見学/出前授業」	はばたき園舎2階	利用者 移行 3 B型 16 自立 0	感染対策のため、園内での実施となる。オンライン工場見学は、ヤクルトができるまでをライブ中継で楽しんでもらいました。

(4) 家庭との連携

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

定例的な個別面談や家族会にとどまらず、必要に応じて個別面談や電話による情報交換を行った。

項 目	実施日	内 容
個人面談 家庭訪問	随 時	個別支援計画（生活介護・就労継続支援B型は年2回・就労移行支援、自立訓練（生活訓練）は年4回以上）の説明と同意を得た。 個別のケースについて必要に応じて個別に面談や家庭訪問を実施することで本人や家族の声を聞き、受容し、信頼関係を築き、問題解決を図った。また、新型コロナウイルス感染予防として電話での面談を実施した。
給食試食会		新型コロナウイルスの感染拡大のため中止とした。

家族会	随 時	年2回開催し、園の状況や今後について報告会を行った。
機関紙	3 カ月ごと 発行	当月の予定や園活動を掲載し、3 カ月ごとにカラー印刷で発行した。
月課表	毎月1日 発行	当月の予定を配布した。
連絡帳	毎 日	毎日の連絡帳を通じて、利用者の健康状態・家庭での様子・検温・排泄時間・意見等家族とのコミュニケーションを図った。(生活介護のみ)
電話連絡	随 時	最も迅速かつ正確な連絡方法であり、即応しなければならない場合に実施した。
その他	適 時	家族の都合により、送迎時間外で園で過ごしてもらい登園時間外は、自力での登降園となる。

① ショートステイ先との連携

家庭の事情等によりショートステイや日中一時を希望される利用者に対しての支援として、ショートステイ先に、園での様子を引き継いだ。また、各事業所とも必要に応じて引継ぎや調整、送迎等の支援を適宜行った。

② 医療との連携

個別に応じて、家族の依頼に基づき円滑な通院ができるように、情報提供や病院との連携を行った。

③ 市との連携

市施策や園運営・支援状況、市内障がい者福祉情勢等の情報交換を行い、利用者ニーズに十分応えられるよう、随時連絡体制を確保した。

④ その他

入所前より詳細な生活内容や発達歴、各種サービスの利用を把握するために支援学校より引継ぎや助言を求めた。また、希望者については円滑な入所ができるよう、事前に進路選択等事業を利用し実習や受け入れを行った。

(5) 法人内他施設との連携

・就労支援機関事業所連絡会

摂津市障害者職業能力開発センター セつつくすのきと茨木・摂津障害者就業・生活支援センターの三施設で求人や就労活動の情報提供を密に行い円滑な支援ができるように連携を図ってきたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で実施できなかった。

・みきの路との交流

みきの路の運動会や当園のクリスマス会、「つくっ展と輝けコンサート」等の催しにお

互いの利用者が参加し交流していたが、今年度は、新型コロナウイルスの影響で実施できなかった。

(6) 健康管理

今年度も感染症予防のため、インフルエンザ、病原性大腸菌O-157、ノロウィルスの感染拡大を防止するため手洗いを励行し、健康状態の把握に努め、家庭と園の連携で健康管理を図ると共に、今年度は、特に陽性者が発生した場合は法人、市役所及び関係機関と迅速に連携しながら対応に当たった。新型コロナウイルス感染予防として、検温・手指消毒・3密防止を徹底した。

① 環境整備

- 冷暖房調節・換気、温湿度計の管理
- 薬箱・体温計の整理・管理（医務室） ○医薬品管理
- 業者による園舎内清掃、消毒 ○手指などのアルコール消毒
- マスク ○非接触体温計 ○ペーパーホルダー ○換気器具設置

② 健康の維持・管理

- 健康カード作成（個人データの整理）
- 検温（体調不良時には随時） ○血圧測定
- 理学療法士による運動プログラム ○配慮食・きざみ食の提供
- インフルエンザ対策（手洗い・検温・視診）
- 健康チェックカード（毎登園時提出）

③ 服薬管理

- 医療調査票作成（通院状況・服薬状況・担当医調査）
- 服薬管理（活動時間内に服薬する利用者の服薬管理）

④ 作成資料

- (ア) 通院状況表
- (イ) 服薬調査表 (ウ) 健康チェックカード

⑤ 健康診断

- (ア) 内科医健診

実施日	5月30日・11月14日
-----	--------------

- (イ) 血圧・脈拍測定

実施日	随時
-----	----

- (ウ) その他健診、検査
 歯科健診

実施日	9月5日
-----	------

(7) 給食の提供

給食については、利用者の健康の維持・増進、生活習慣病の予防や家庭での食生活の意識向上を目指して実施している。栄養素の摂取不足によって生じるエネルギー及び栄養素欠乏症の予防に留まらず、過剰摂取による健康障害の予防や生活習慣病の一次予防も重要である。給食業務をウオクニ株式会社に委託して19年目となり、月1回定期的に同社の営業・栄養士・調理員・施設側の支援員・栄養士で会議を行い密に連携をとった。利用者にとってより安全で楽しく、美味しく食事をしてもらう環境作りを考えるよう努めた。食事は、あくまで個人的なものであることから個人が必要とする栄養量を満たした食事摂取基準を算定し、美味しく、衛生的な食事であることにも努めた。また、個別の栄養アセスメントにも対応できるようにした。給食における「食生活の指針」をたて、次のとおり実施した。

1. 給食会議の充実
2. 「給食だより（献立表）」の発刊（月1回）
3. 残食検査の実施
4. 食事提供状態の充実
5. 衛生管理の充実
6. 利用者給食会議

(8) 利用者の状況

①通所状況 (在籍者数は月初の人数)

■生活介護

(人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	34	34	35	35	34	34	33	33	33	33	33	33	
支援日数 (日)	20	19	22	20	17	20	20	16	20	19	19	22	234
延利用数 (人)	562	546	659	578	388	560	554	420	524	496	512	602	6,401

■生活介護（かがやき）

(人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	
支援日数 (日)	20	19	22	20	17	20	20	16	20	19	19	22	234
延利用数 (人)	46	51	58	45	34	60	60	50	51	51	48	52	606

■就労移行支援

(人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	2	
支援日数 (日)	20	19	22	20	17	20	20	20	20	19	19	22	238
延利用数 (人)	80	76	89	80	50	78	77	59	60	55	56	44	804

■就労継続支援B型

(人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	
支援日数 (日)	20	19	22	20	17	20	20	20	20	19	19	22	238
延利用数 (人)	304	290	331	298	176	305	299	288	289	286	279	328	3,473

■自立訓練（生活訓練）

(人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
支援日数 (日)	20	19	22	20	17	20	20	20	20	19	19	22	238
延利用数 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

②年齢別（令和5年3月31日現在）

■生活介護

(人)

年齢 性別	18～19才	20～29才	30才～39才	40才～	計
男	1	10	9	2	22
女	1	2	7	1	11
計	2	12	16	3	33

■生活介護かがやき

(人)

年齢 性別	30～39 才	40～49 才	50～59 才	60～69 才	70～79 才	80～89 才	計
男	1	0	2	1	0	1	5
女	0	0	1	0	2	0	3
計	1	0	3	1	2	1	8

■就労移行支援

(人)

年齢 性別	18～19 才	20～24 才	25～29 才	30 才～	計
男	0	0	1	0	1
女	0	1	0	0	1
計	0	1	1	0	2

■就労継続支援 B 型

(人)

年齢 性別	18～19 才	20～24 才	25～29 才	30 才～	計
男	0	3	2	4	9
女	0	0	0	7	7
計	0	3	2	11	16

■自立訓練（生活訓練）

(人)

年齢 性別	18～19 才	20～24 才	25～29 才	30 才～	計
男	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0

③手帳の所持

(ア)療育手帳（令和5年3月31日現在）

■生活介護

(人)

判定 性別	A	B1	B2	計
男	21	0	0	21
女	11	0	0	11
計	32	0	0	32

■就労移行支援

(人)

判定 性別	A	B1	B2	計
男	0	1	0	1
女	0	1	0	1
計	0	2	0	2

■就労継続支援 B 型

(人)

判定 性別	A	B1	B2	計
男	5	4	0	9
女	1	5	1	7
計	6	9	1	16

■自立訓練（生活訓練）

(人)

判定 性別	A	B1	B2	計
男	0	0	0	0
女	0	0	0	0
計	0	0	0	0

(イ) 身体障害者手帳（令和 5 年 3 月 31 日現在）

■生活介護

(人)

級 性別	1 級	2 級	3 級	4 級	計
男	1	5	0	1	7
女	1	2	0	1	4
計	2	7	0	2	11

■生活介護かがやき

(人)

級 性別	1 級	2 級	3 級	4 級	計
男	3	2	0	0	5
女	1	2	0	0	3
計	4	4	0	0	8

(ウ) 障害支援区分 (令和5年3月31日現在)

■生活介護

(人)

性別 \ 区分	区分6	区分5	区分4	区分3	計
男	8	8	4	2	22
女	2	4	5	0	11
計	10	12	9	2	33

■生活介護かがやき

(人)

性別 \ 区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	計
男	0	1	3	1	0	5
女	0	1	0	0	2	3
計	0	2	3	1	2	8

(9) 各種会議

利用者の処遇向上と職員間の連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

1. 施設連絡会議 (月2回)
2. 作品展実行委員会 (随時)
3. 職員会議 (随時)
4. ケース会議 (随時)
5. 給食会議 (毎月1回)
6. サービス向上委員会 (随時)
7. 虐待防止・権利擁護委員会 (随時)
8. リーダー会議 (随時)

(10) 災害防止対策

防災用設備の自主点検実施のほか、災害時の職員の役割分担を明確化、緊急連絡網の職員への周知徹底を図ると共に、毎月の火災を想定した避難訓練を実施した。尚、新型コロナウイルス感染予防対策として、火災報知器は鳴らさず各サービス時間差で実施した。また、ふれあいの里消防総合訓練(通報、避難、消火訓練)を年2回(6月、11月)予定していたが、新型コロナウイルスの影響で中止となった。

実施日	想定災害	訓練内容	参加者				
			利用者				職員
			生活介護	就労移行	就労B型	自立支援	
4月20日	火災	避難訓練	23	4	7	0	16
5月19日	〃	〃	23	3	7	0	16
6月15日	〃	消防総合訓練	28	4	7	0	22
7月6日	〃	〃	22	4	7	0	18
8月		中止					

9月14日	〃	〃	23	5	7	0	19
10月13日	〃	〃	20	3	7	0	18
11月	〃	消防総合訓練中止					
12月5日	〃	避難訓練	19	3	7	0	18
1月17日	震災	〃	20	4	7	0	16
2月16日	火災	〃	23	3	7	0	18
3月9日	震災	〃	23	2	7	0	18

(11) 職員研修・会議

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会・会議に参加した。

① 機関研修

研修日	研修名	場 所	主 催	職種
8月8日	第45回てんかん基礎講座	ふれあいの里 (オンライン配信)	公益社団法人 日本てんかん協会	支援員
8月25日	令和4年度アクトおおさか 支援者対象公開講座	ふれあいの里 (ZOOM 配信)	大阪府障がい者支援セ ンターアクトおおさか	支援員
9月14日	高次脳機能障害地域支援者 養成研修	ふれあいの里 (ZOOM 配信)	大阪府障がい者自立 相談支援センター	支援員
9月26日	令和4年度大阪府強度障 がい者支援者養成研修 (基礎)	大阪府教育会館 たかつガーデン	大阪府障がい者自立 支援センター	支援員
9月28日	2022年度 中堅職員研修	ふれあいの里 (ZOOM 配信)	大阪府知的障害者福 祉協会	支援員
10月13日・ 24日	障害者虐待防止研修	摂津市立地域福祉活 動支援センター	摂津市障害者地域自立 支援協議会・摂津市	支援員 栄養士
11月8日	虐待防止研修	ふれあいの里	人材育成策検討委員会	支援員
11月7日・ 8日・10日	人権研修	ふれあいの里 (オンライン)	法人	全職員
11月15日	令和4年度就業支援実践研修	新大阪丸ビル別館	独立行政法人高齢・障 害・求職者雇用支援機構	支援員
12月14日	人の発達プロセス	ふれあいの里	人材育成策検討委員会	支援員
12月15日	令和4年度大阪府強度行 動障がい者支援者養成研修 (実践)	アネックスパル法門坂	大阪府立砂川厚生福 祉センター	支援員

1月19日・ 20日	令和4年度サービス責任者 基礎研修	ビッグ・アイ(国際障 害者交流センター)	大阪府障害者福祉事 業団	支援員
2月7日	摂津人企連 令和4年度ふ れあい学習会	(株)ダイキンサンラ イズ摂津	摂津地区人権推進企 業連絡会	支援員
2月10日	令和4年度サービス管理責 任者更新研修	大阪府社会福祉会館	大阪府地域福祉推進 財団	支援員
2月14日	従事者部会 防犯研修	エディオンアリーナ 大阪	従事者部会及び大阪 府民間社会福祉事業 従事者共済会	支援員
2月20日・ 24日	安全運転研修	みきの路 ふれあいの里	社福) 摂津育和会	全職員
3月2日	2022年度新任職員研修	ふれあいの里 (オンライン)	一般財団法人大阪府 知的障害者福祉協会	支援員
3月19日	令和4年度摂津育和会 事業発表会	摂津市立コミュニテ ィプラザ	摂津育和会	職員
3月20日	身体拘束等の研修	ふれあいの里	虐待防止・身体拘束 等適正化委員会	支援員

② 専門研修

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の予防という点で対面での研修はほぼ見送られた。食中毒予防講習会のみ開催された。北摂ブロック栄養士研修会は「案件」がある場合メールでのやり取りをした。

研修日	研修名	場 所	主 催	職種
7月 26日	食中毒予防講習会	茨木保健所	大阪府	栄養士

③ 施設内研修

新型コロナ感染予防から

(12) その他

① ボランティア受け入れ状況

担当者を設け、利用者の対人関係の拡大、体験学習、福祉の啓発を目的に受け入れをし、施設の社会化の一環とする。今年度は、問い合わせは1件あったが、新型コロナウイルスの影響で受入れできなかった。

② 実習生の受け入れ状況

支援学校からの実習は、教育の一環として作業学習や、施設生活を体験することと、進路選択を行うため広く受け入れた。また、新規事業を予定している民間の事業所より職員の現場実習の受入れを行った。

※今年度は新型コロナウイルス感染予防の徹底を行い受入れを実施した。

(実習生)

実習期間	学校、施設名	受け入れ先	人数
6月22日～28日	茨木支援学校	就労移行支援	1
7月4日～8日	摂津支援学校	就労継続支援B型・自立訓練	1
7月21日・22日 8月18日・19日	茨木支援学校	生活介護	1
7月28日・29日 8月1日～3日	茨木支援学校	生活介護	1
8月2日・10日・17日 23日・24日	茨木支援学校	生活介護	1
8月3日・4日・8日～ 10日	茨木支援学校	生活介護	1
8月24日～26日	茨木支援学校	自立訓練	1
8月29日～31日	茨木支援学校	自立訓練	1
9月14日～16日	茨木支援学校	自立訓練	1
11月7日～11日	摂津支援学校	就労移行支援	1
11月14日～18日	摂津支援学校	就労移行支援	1
1月11日～17日	摂津支援学校	就労移行支援	1
1月18日～20日	茨木支援学校	自立訓練	1
1月25日	摂津支援学校	生活介護	1
1月26日～27日	摂津支援学校	自立訓練	1
2月1日	摂津支援学校	生活介護	1
2月2日・3日・7日	茨木支援学校	生活介護	1
2月8日	摂津支援学校	就労継続支援B型	1
2月13日～15日	摂津支援学校	就労継続支援B型	1
2月27日～28日	茨木支援学校	就労移行支援	1
3月6日	茨木支援学校	就労継続支援B型	1

(職場体験実習)

毎年、摂津市立第三中学校より学生の受入れを行っていますが、今年度は新型コロナウイルスの影響により受入れは行わなかった。

③ アフターケア

障がい者の自立と豊かな地域生活への実現に向けて、本人の希望や家族の状況に応じて進路選択や決定の支援を行った。また、進路先へのスムーズな移行のために調整や引継ぎなどの支援も行った。

(13) 日中一時支援事業

ご家族のレスパイトを目的に、障がい児・者を長期休暇時や放課後、他事業所利用者の平日休暇日に日中活動の場として一時的に受入れを予定していたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で受け入れが難しかった。受入れにあたり、本体施設利用者の状況や施設面（ハード面）などの問題により、受入れが制限されることがあり、また、利用者の障がい程度に合わせた5クラスの編成配置を行ったため、日中一時支援を受ける居室がないので児童の受入れは難しい状況である。

(14) 移動支援事業（ガイドヘルパー派遣事業）

① 概況

一人で外出することが困難な障がいのある方の外出時に、付き添いや介助等のサービスを行うガイドヘルパーを派遣する予定だったが、新型コロナウイルス感染予防のため、今年度は見合わせた。

*利用契約者の状況（令和5年3月31日現在）

		人 数	合 計
障 害 種 別	知的障害	33	37
	身体障害	4	
	精神障害	0	
身体介護あり		25	37
身体介護なし		12	

② 職員研修

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会に参加する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で受講できなかった。

③ 各種会議

安定した移動支援サービスの提供と職員間の連携を図るため、定期的に会議を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で移動支援事業が実施できないため、会議も行っていない。

(15) 新型コロナウイルス感染症の発生に伴う措置

関係省庁の発表やガイドライン等に基づき、感染拡大防止対策の徹底を行った。新型コロナウイルス感染症の脅威から利用者の健康と安全安心な生活を守る取り組みに努めながら、法人の新型コロナウイルス対応マニュアルの徹底、ひびきはばたき園のルールやBCP（業務継続計画）、緊急連絡先リスト等の整備も行った。感染予防のため、支援員にフェイスシールド、防護エプロン、携帯用消毒を配布した。また、施設内で登園前と降園後にドアノブや手すり、机等を次亜塩素酸ナトリウムで消毒し、登園時に検温・手洗いうがいの徹底、体

温チェックシートの提出や、利用者に視覚的にわかりやすい掲示物やパネルを用意し安全安心に活動に取り組めるように努めた。その他、各作業場には空気清浄機や換気器具等の設置等や、食堂での座席配置や人数制限、大人数での活動や行事の見直し等、利用者の受入れには細心の注意を払い対策を講じた。尚、利用者及び家族、職員に陽性者が発生した場合、保健所・市役所や関係機関と連携を図り、拡大防止に努めた。利用者に登園自粛要請、欠席者には体調確認の連絡を入れる。また陽性者が復帰する場合は、抗原検査を実施し感染拡大防止に努めた。

令和5年3月13日からマスク着用は個人の判断に委ねられる事となったが当園には基礎疾患を有する方や重症化リスクの高い方がおられるため、マスクの着用を引き続きお願いした。